

評価表

評価項目	様式	企画提案項目		企画提案書に記載を求める事項	評価の着目点	評価基準	評価の ウェイト (配点)
事業者の実績 10	6	6-1	事業者の事業実績	2022年度以降の国土交通省による処分の状況及び2022年度以降に自動車事故報告規則第2条に該当する事故がある場合はその状況を記載する。	過去3年間の事故等の状況	安全な運行を実施してきたか	10
		6-2	運行実績	コミュニティバス等（道路運送法第4条の規定による許可を受けて運送するもの）の運行実績を記載する。	コミュニティバス等の運行実績	コミュニティバス等の運行実績を有しているか。	
高齢者・環境への配慮 10	8	8-1	高齢者・障害者への配慮	バリアフリーの対応や、高齢者・障害者を対象にしたサービスを実施している場合、その状況を記載する。	バリアフリーへの取組、サービスの状況	高齢者・障害者の利用しやすい環境整備が行われているか。	10
		8-2	環境保全への取組	低公害車の導入状況・省エネルギーへの取組状況を記載する。交通エコロジー・モビリティ財団のグリーン経営認証又はISO14001の取得の有無を記載する。	環境保全に対する取組状況	環境保全への取組がなされているか。	
運行体制 30	9	9-1	実施体制（人員配置等）	本事業に当たる運転業務従事者の配置や勤務体制、安全運転・無事故を実現するための措置事項、運輸安全マネジメントの導入状況、運賃の収受方法を詳細に記載する。	安全性・信頼性	運行の安全性や信頼性が確保できる体制となっているか。	10
		9-2	実施体制（設備等）	営業所及び車庫の位置、車両の保管、整備体制・バス停の管理（事故等による破損時の対応・台風等の悪天候時の管理）について記載する。	安全性・信頼性	運行の安全性や信頼性が確保できる体制となっているか。	10
		9-3	予備車	予備車両の保有台数、車種名・年式・乗車定員・設備、常備する場所、配車に要する時間を記載する。車検・故障時の対応方法について記載する。	代車の提供水準 車検・故障時の対応	予備車両及び配置体制について具体的に考え方が示されているか。不測の事態での対処方法との整合は取れているか。	10
安定運行の方策 40	10	10-1	乗客サービス	市のコミュニティバス運行にあたり、乗客サービスの考え方、接遇等の研修体制、苦情処理の方法について記載する。	提供水準	乗客へのサービス提供水準が必要十分か。	10
				交通系ICカード決済への対応状況、バスの運行状況の公開について記載する。	提供水準	乗客へのサービス提供水準が必要十分か。	10
				忘れ物やバス運行位置の確認のための運行中のバス運転手との連絡方法及び忘れ物の返却方法について記載する。	管理体制	適切な管理体制が取れているか。利用者に負担の少ない返却方法か。	10
		10-2	不測の事態における対処方法	事故発生時の応急措置、運行回復措置、利用者への情報提供方法、市への報告方法について記載する。	事故発生時の対応	適切・迅速な対応が期待できるか。	10
				乗車定員超過時、運行時間の大幅な遅延時、積雪等の悪天候時の対応、利用者への情報提供方法、市への報告方法について記載する。	乗車定員超過時、大幅遅延時の対応	適切・迅速な対応が期待できるか。	
		10-3	事故の場合の補償内容	事故発生時の相手方への対応・補償方法、補償内容についてを記載する。	事故発生時の対応・補償内容	適切な対応が取れる体制が取れているか。	
本事業への取組 30	11	11-1	実施方針	取組み方針、運行開始までのスケジュールをできるだけ詳細に記載する。	取組意欲 現実的なスケジュールがあるか	市の取組みを理解しているか、公共交通機関としての責任感があるか、取組意欲が旺盛か。	10
		11-2	地域と事業者との関係	バス利用者の意見を運行に反映させることについて事業者としてできることは何か。地域住民とバス事業者との関係をどう考えるか。また、地域住民に対してバス事業者がすべきこと、利用促進に向けた取り組みを記載する。	地域との連携・取組意欲	事業者としてできることを検討しているか、地域との連携を考慮しているか、取組意欲が旺盛か。	10
		11-3	市の運行計画内容に対する改案、重要事項の指摘	市の計画内容に対する改案、重要事項の指摘を積極的に記載する。	専門性・合理性	有益な改案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	10
運行経費見積（消費税含む） 100				運行経費の詳細な積算見積額を記載する。	コストの妥当性 適切な初期設備が見積もられているか	積算内容が適切か。提案内容に対して運行経費が不適切ではないか。	100
配点 計							220